

令和7年度 第6回鳥取大学経営協議会 議事要旨

日 時 令和8年3月26日(木) 16:01 ~ 17:40

会議方法 対面会議(オンライン併用(Google Meet))

会 場 ホテルニューオータニ鳥取 鳳凰の間 東

出席者 (学外)入江, 占部, 小林, 中島, 平井, 船越, 松本, 吉村, 渡辺の各委員
(学内)原田, 景山, 坂口, 恒川, 三木, 結城, 熊埜御堂, 武中の各委員
内田監事

陪席者 岸本副学長, 後藤副学長, 西山副学長, 安延副学長, 深田副学長
塩野谷地域学部長, 永島医学部長, 岩井工学部長, 明石農学部長

議事要旨の承認

前回(令和8年1月23日開催)の議事要旨を承認した。

審 議

1. 令和8年度鳥取大学予算について

資料1に基づき, 令和8年度鳥取大学予算案について説明があり, 審議の結果承認した。

— 委員からの主な発言 —

◇大学病院の収支に関し, 診療報酬改定に伴う収入増に対し, 人件費増加分の基準未達による返還リスクに対する意見があったが, 十分に精査した上で盛り込んでいる旨説明があった。

2. 令和7年人事院勧告への対応について

資料2に基づき, 令和7年人事院勧告への対応について説明があり, 審議の結果承認した。

報 告

1. 令和7年度決算スケジュール

資料3に基づき, 令和7年度決算スケジュールの概要について報告があった。

2. 大学基金の現状について

資料4に基づき, 大学基金の現状について報告があり, その後, 基金の活用と広報の強化について意見交換が行われた。

— 委員からの主な発言 —

◇寄附促進のため, 具体的な活用事例を詳細に公表すべきとの意見があった。
これに対し大学側からは, ファンドレイザーの雇用も含めた体制整備を図り, 一般の方にも分かりやすい具体的な情報発信を強化していく旨説明があった。

◇若年層への発信として SNS（Instagram）や AI の活用、また知名度の高い大学病院の広報誌との連携が有効であるとの提案があり、大学全体版の広報誌作成や広報戦略の強化に取り組む旨説明があった。

◇経済的に困難な世帯や地域の学生が学びを継続できるよう、修学支援の更なる充実と、その支援実績（一人当たりの支援額等）を積極的にアピールすべきとの意見があり、大学院生への対象拡大を含め支援策を充実させていく旨説明があった。

◇他大学の成功事例を参考に、駅伝等のスポーツ強化を独自の強みとして戦略的に活用することで、大学のブランド価値を向上させ、志願者確保や寄附促進に繋げるべきとの意見があった。

3. 鳥取大学医学部附属病院再整備事業基本計画書の策定及び基本構想の更新について

資料5に基づき、医学部附属病院の再整備計画について報告があった。

— 委員からの主な発言 —

◇精神科病床数の適正性について質問があり、病床数については将来的な社会情勢の変化や地域の実情に合わせて柔軟に検討していく旨説明があった。

◇病院を核とした街づくりを評価する一方、経営面では更なる寄附金の確保が重要であり、寄附者の氏名掲出（銘板）や、企業訪問等を通じて積極的に寄附を募る体制を構築すべきとの提言があった。

討 議

1. 産学連携の強化について

資料6に基づき、産学連携の現状と今後の強化策について説明があり、各委員との意見交換が行われた。

— 委員からの主な発言 —

◇振興協力会とのマッチングが不十分であるとの指摘があり、特に中小企業にとっての心理的ハードルを下げるべきとの意見があり、地域未来共創センターを中心とした交流の活発化や、若手社長と若手教員による関係構築を進めていきたい旨説明があった。

◇学生のスタートアップ支援について、継続性の難しさが課題であるとの意見があり、地域未来共創センターを中心に大学としてサポート体制を整えている旨説明があった。

そ の 他

資料7に基づき、次回開催日程について説明があった。